

## JP060 飛島・御積島（とびしま・おしゃくじま）

山形県：酒田市

位置	N 39° 11′ E 139° 32′
面積	249ha

### 環境構成【島嶼／樹林／海岸／農耕地】

飛島は周囲約 12 km の小さな島で酒田港より北西に約 39 km の日本海上に位置する。段丘、海岸低地面、海蝕台からなる、ほぼ平坦な台地上である。周囲に対馬海流が流れているため温暖で、タブノキやヒサカキなどの常緑広葉樹に覆われている。

島の南東に位置する館岩、及び西に位置する離れ島の御積島等はウミネコの繁殖地となっており、国の天然記念物に指定されている。



写真：築川 堅治

### 選定理由

A4i	ウミネコ
A4iii	ウミネコ

### 保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

<保護指定の内容>

国定公園（鳥海国定公園）、自然環境保全地域

<その他>

国指定天然記念物飛島ウミネコ繁殖地

### 保全への脅威

- ・畑の荒地化、森林の増加
- ・団体観察者の増加
- ・釣り人の上陸
- ・ノネコによる捕食（館岩、百合島）

### 鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化  
減っている

- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有

＜調査データの入手方法＞

生物多様性センターホームページのモニタリングサイト 1000 の調査結果より

- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化  
変化がある：ネコの侵入、防波堤工事
- ・ IBA 選定基準種の生息環境  
非常に悪い（40%未満が最適の状態）
- ・ IBA エリア保全管理計画の有無：現在作っている、作る準備がある

\*30 年程前は 2 万とも 3 万とも言われたウミネコの数は、年を追うごとに減り続け、カウントはしていないが、ざっと見ても 1 万以下、2,000～3,000 程度しかいないのではと思える程である。近年は陸続きの繁殖地である館岩は消失、離れ小島の百合島でも数が激減している。館岩はたび重なる防波堤工事により激減した可能性も示唆され、館岩の消失とほぼ同時に、北東へ直線で約 2km 離れた離れ小島の寺島での繁殖が増え出した。また、百合島ではネコが侵入しウミネコ成鳥を捕殺した目撃情報がある。御積島でカンムリウミスズメ、ウミスズメ、ウトウの繁殖が示唆され 2015 年より山形県支部で調査を開始し、カンムリウミスズメ、ウトウは繁殖期に複数の成鳥が確認されている。

## 保全活動

特になし

## 見られる鳥

ウミネコの繁殖地である他、渡りの中継地として重要な役割を果たしており、島内で見られるほとんどの種が春秋の渡りの時期に見られる。また、カンムリウミスズメやカラスバトの繁殖も示唆されている。

留鳥	ウミウ、トビ、ハヤブサ、ウミネコ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、イソヒヨドリ、シジュウカラ、ホオジロ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラスなど
夏鳥	スズメ、アオバズク、ツバメなど
冬鳥	ウトウ、ウミアイサ、オオセグロカモメ、ツグミ、ジョウビタキなど
旅鳥	ヤツガシラ、ヒメコウテンシ、マジロタヒバリ、アカモズ、カラアカハラ、ムジセツカ、オジロビタキ、シラガホオジロ、コウライウグイスなど

\*飛鳥・御積島の周辺海域は、マリーン IBA（Marine Important Bird and Biodiversity Areas：海鳥の重要生息地）に選定されている。

詳しくはこちら <http://www.wbsj.org/activity/conservation/habitat-conservation/miba/>

## 関連団体・自治体・施設等

・日本野鳥の会 山形県支部

